

関係部署へ 回覧下さい					
----------------	--	--	--	--	--

包装資材研究例会

～包装材のリサイクル促進に向けて～

日時	2019年6月27日(木) 13:30～16:30
会場	愛知県産業労働センター(ウインクあいち) 11階 1103会議室 名古屋市中村区名駅4-4-38
参加費	会員は 無料 / 一般は 5,400円(税込み)
お願い	会場内では録音・撮影禁止とさせていただきます。

プログラム

【コーディネーター】

フタムラ化学株式会社 中部統括開発グループリーダー(包装専士) 花市 岳氏
株式会社アイセロ 執行役員技術開発本部長(包装管理士) 若杉 直樹氏

13:30～14:30

「トッパンの環境対応型パッケージの取り組み」

凸版印刷株式会社 生活・産業事業本部BIC開発本部第一開発部 課長 香川 幸子氏

包装容器は多様な機能を有する一方で、内容物が使用・消費された後には不要なものとなりゴミとして廃棄されます。流通する際には容器として大事な役割を果たしながらも、現在では地球環境への負担を極力減らした容器の開発が求められてきています。暮らしに欠かすことの出来ない包装容器を負荷の少ない持続可能なものにするために、当社がおこなっているいろいろな取り組みについてご紹介いたします。

14:30～14:45

休憩

14:45～15:30

「リサイクル時に粘着力を消失する容器用粘着ラベルの開発」

王子タック株式会社 開発営業グループ 担当部長 佐々島 伸之氏

粘着ラベルは食品・飲料・日用品などの商品名や内容物の説明等を記載した表示ラベルや配送伝票などの物流ラベル、POPラベル、選挙ポスターなど身近な日常品に広く使用されています。近年粘着ラベルにいろいろな機能を加えることが要望される中で、昨今の環境意識の高まりや自治体の分別回収促進に向けて、容器に貼られたラベルをリサイクル時に簡単にはがすことが出来る機能が求められています。今回、熱水や熱アルカリ溶液中で粘着力が消失するラベルを開発しましたのでご紹介いたします。

15:30～16:30

「プラスチック容器のリサイクルプラント企業から容器包装に望むこと」

ヴェオリア・ジェネッツ株式会社プラスチックリサイクル本部 副本部長 喜田 知克氏

当社は資源管理最適化の世界的リーディングカンパニー・ヴェオリアグループの日本法人です。ヴェオリアグループは世界で579か所の廃棄物処理場を管理し、2017年には4700万トンの廃棄物を処理しています。容器包装のプラスチックにはPE・PP・PS・PET・PA・PVC等多くの樹脂が使われていますが、容器本来の役割を果たすため単一樹脂で使われることは少なく、ラミネート加工されている物が多い上に添加物・顔料・接着剤等も使用されています。リサイクラーとして多種多様な容器プラスチックをリサイクルするために様々な設備を使用している現状と、設備によって対応出来ることと出来ない課題について説明させていただいた後、包装メーカーに要望することをお話いたします。